



朝霞地区医師会 いわい よしふみ 岩井 良文

☎464-4666

RSウイルスを一言で言うと「赤ちゃんが感染すると悪くなりやすい風邪のウイルス」です。季節によっては小児科の入院患者さんの半分くらいがRSウイルス感染症ということもあり、小児科医にとっては天敵のようなウイルスです。以下ではQ&A形式でRSウイルス感染症について説明させていただきます。

ルスよりも低いというものがありません。小さな子どもにとっては、毎年流行するRSウイルスの方が実は怖いウイルスだったという見方もできるのかもしれませんが。

低年齢の子ども以外でも心臓の病気、免疫力が低下する病気、遺伝的な体質をお持ちの方、早産児などはRSウイルスに感染すると重症化しやすいといわれています。

Q RSウイルスはいつ頃流行しますか？

A 以前は秋口から感染が始め、冬にピークとなり、春にかけて感染者が減っていくという流行パターンを示していました。しかし、近年は流行時期が前倒しになる傾向があり、ここ数年は夏ごろから流行り始め、秋ごろにピークを迎えています。2021年は夏に感染のピークを迎えており、年によって流行時期は多少変動します。

Q RSウイルス感染症はどのように診断しますか？

A 迅速抗原検査での診断が一般的です。綿棒で鼻の中の鼻汁をぬぐい、ウイルスの有無を確認します。使用するキットによって時間は異なりますが、10分程度で結果がでることが多いです。外来診療において、迅速抗原検査の保険適応は1歳未満の子ども、重症化リスクが高い子どもに限られています。

Q RSウイルスに感染するとどんな症状がでるのでしょうか？

A RSウイルスは一般的な風邪やインフルエンザと同じように、子どもから大人まですべての人に感染し、人生の中で一度きりではなく、生涯にわたり何度も繰り返し感染します。ただし、その症状は患者さんの年齢や持病の有無により大きく異なります。健康な大人や年長児が感染すると鼻水、咳などのちょっとした風邪症状で終わることも多いのですが、低年齢の子どもが感染すると、ウイルスの影響が気道の奥まで進んでしまい、細気管支炎、肺炎を発症することがあります。こうなると、ゼイゼイしたり、呼吸が苦しくなったりしてしまいます。多くの子どもは2歳までに初めてのRSウイルス感染を経験するといわれていますが、初めてのRSウイルス感染では30%程度で下気道感染（細気管支炎や肺炎など）を発症し、1~3%は入院治療を要するといわれています。

Q RSウイルスの予防対策はどのようなことができますか？

A RSウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染の2つです。飛沫感染では、感染している人が咳や会話をした際に周囲に飛び散る唾液により、感染が広がります。先にも書いたとおり、大人にとっては軽い風邪であっても、小さな子どもが感染すると重症化することもあるので、小さな子どもが近くにいる場合はマスク着用を心がけるようにしましょう（赤ちゃん自身のマスク着用は危険なのでやめましょう）。接触感染ではウイルスが含まれた唾液などを直接的、間接的に触れることで感染が広がります。ウイルスは目に見えるものではないため、物を介しての間接的な接触感染が見落とされがちです。RSウイルスはコップ、ドアノブ、手すり、おもちゃなどの表面に付着すると数時間生存し、ティッシュペーパー、皮膚の表面でも数十分は生存します。RSウイルスが付着したものを触った手で目や鼻を触ると感染してしまう可能性があるため、普段から手洗い、手指消毒を行うことが大切です。

余談ですが、新型コロナウイルスの初期の報告の中には、5歳未満の新型コロナウイルスの致死率はRSウイ

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
7	3	新座	新座西山内科眼科クリニック	循内、内、眼、小	202-1112	朝霞	あさか心のクリニック	精・心内	458-5561
	10	朝霞	新谷医院	循内、内、消内、小	461-3238	和光	中川眼科	眼	465-1144
	17	新座	くりはら内科クリニック	内、消内、循内	(042) 438-6606	朝霞	朝霞すみえ皮フ科クリニック	皮	423-0496
	18	和光	和光駅前クリニック	外、内、小、整外、消内、肛、リハ	460-3466	朝霞	朝霞整形外科・外科	整外	461-5128
	24	新座	たきやま小児クリニック	小、アレ	477-8620	志木	かとう整形外科・リハビリテーション科	整外、リハ	486-3770
	31	志木	志木いろは橋クリニック	内、小、皮	471-1688	新座	飛田耳鼻咽喉科	耳	479-4062

日曜日、祝日に開局している薬局

下のコードから確認できます。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

救急医療のお問い合わせ

●埼玉県南西部消防局 ☎460-0123

●埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または☎824-4199(ダイヤル回線、IP電話、PHS)